

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年12月12日

【四半期会計期間】 第72期第2四半期(自平成24年8月1日至平成24年10月31日)

【会社名】 アゼアス株式会社

【英訳名】 AZEARTH Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 沼尻 俊一

【本店の所在の場所】 東京都台東区蔵前四丁目13番7号  
(注)本社社屋建替えのため一時移転し、下記仮事務所にて業務を行っております。  
管理本部 東京都台東区蔵前四丁目14番2号  
上記以外 東京都台東区蔵前三丁目2番2号東信蔵前ビル

【電話番号】 03-3865-1311(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部長兼経理部部长 羽場 恒彦

【最寄りの連絡場所】 本店の所在の場所に同じ

【電話番号】 03-3865-1311(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理本部長兼経理部部长 羽場 恒彦

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第71期 第2四半期 連結累計期間		第72期 第2四半期 連結累計期間		第71期	
		自 至	平成23年5月1日 平成23年10月31日	自 至	平成24年5月1日 平成24年10月31日	自 至	平成23年5月1日 平成24年4月30日
会計期間							
売上高	(千円)		5,384,131		4,357,687		10,874,477
経常利益又は経常損失( )	(千円)		334,609		5,505		518,235
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失( )	(千円)		198,619		20,601		269,606
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		183,083		21,763		259,191
純資産額	(千円)		5,058,351		5,014,466		5,140,228
総資産額	(千円)		7,904,606		7,449,132		7,444,708
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は四半期純損失金額( )	(円)		33.76		3.48		45.75
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		33.56				45.54
自己資本比率	(%)		64.0		67.3		69.0
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		119,147		633,075		223,836
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		12,619		20,594		40,361
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		121,699		123,910		141,072
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		1,133,638		1,681,880		1,190,977

回次		第71期 第2四半期 連結会計期間		第72期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年8月1日 平成23年10月31日	自 至	平成24年8月1日 平成24年10月31日
会計期間					
1株当たり四半期純利益金額	(円)		11.44		8.45

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第72期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州の債務危機による世界経済の減速懸念や長引く円高等、先行きが不透明な状況のまま推移し、内閣府が公表した10月の景気動向指数においては、「下方への局面変化」から「悪化」へ2か月連続で下方修正の判断が示されました。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間においては、防護服・環境資機材事業、たたみ資材事業、アパレル資材事業とも減収傾向であったことに加え、利益面では、年金制度設計変更に伴う退職給付費用、上場関連費用、本社社屋建替えに伴う解体撤去費用等特別な要因による費用が集中したため当第2四半期連結累計期間の売上高は、4,357,687千円（前年同四半期比19.1%減）、営業利益は15,183千円（前年同四半期比95.5%減）、経常損失は5,505千円（前年同四半期は経常利益334,609千円）、四半期純損失は20,601千円（前年同四半期は四半期純利益198,619千円）となり減収減益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

主力事業であります防護服・環境資機材事業におきましては、東日本大震災の復興需要が、当第2四半期連結累計期間においては、やや落ち着いて推移しました。この結果、防護服・環境資機材事業の売上高は1,863,504千円（前年同四半期比26.3%減）、セグメント利益（営業利益）は151,920千円（前年同四半期比59.9%減）となり減収減益となりました。

たたみ資材事業におきましても、震災の本格的な復興は今後見込まれるものの、当面の需要は落ち着いて推移し、比較的利率の高い畳表等の販売が低調に推移しました。この結果、たたみ資材事業の売上高は967,648千円（前年同四半期比6.1%減）、セグメント利益（営業利益）は37,811千円（前年同四半期比41.9%減）となり減収減益となりました。

アパレル資材事業におきましては、販売減少傾向であるカジュアル、スポーツ分野に加え、前連結会計年度は比較的好調であったユニフォーム分野が販売減少傾向となり売上面、利益面とも厳しい状況が続き、利益確保のため経費削減に取組みました。この結果、アパレル資材事業の売上高は1,054,931千円（前年同四半期比20.7%減）となり減収でしたが、セグメント利益（営業利益）は69,781千円（前年同四半期比13.9%増）となり増益となりました。

これらに加え利益面では、営業外費用に上場関連費用22,000千円、特別損失に本社社屋建替えに伴う固定資産除却損12,357千円を計上致しました。これらはいずれも特別な要因による費用であり、当第2四半期連結累計期間においては、経常利益以下の利益項目は赤字となりましたが、通期ではいずれも利益確保ができる見込みです。

なお、報告セグメントに配分していない一般管理費の全社費用は、261,399千円であります。

## (2) 財政状態の分析

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、5,983,535千円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が565,901千円減少、繰延税金資産が13,509千円減少し、現金及び預金が442,717千円増加、商品及び製品などのたな卸資産が82,259千円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.5%増加し、1,465,597千円となりました。これは、主として本社社屋建替えに伴う建設仮勘定の増加などにより有形固定資産が43,819千円増加、退職給付引当金の増加等の影響で繰延税金資産が増加したことなどにより投資その他の資産が24,262千円増加したことなどが原因であります。

この結果総資産は、前連結会計年度末に比べて4,424千円増加し、7,449,132千円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.6%増加し、1,974,443千円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が208,883千円増加し、法人税の納付等により未払法人税等が126,796千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて15.6%増加し、460,222千円となりました。これは、主として年金制度設計変更の影響等で退職給付引当金が73,366千円増加し、社債が15,000千円減少したことなどによります。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.4%減少し、5,014,466千円となりました。これは、主として配当や四半期純損失により利益剰余金が125,424千円減少したことなどによります。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて490,902千円増加し、当第2四半期連結会計期間末には1,681,880千円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、633,075千円（前年同四半期は、119,147千円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、売上債権の減少567,794千円、仕入債務の増加209,911千円、退職給付引当金の増加73,195千円等であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額142,899千円、たな卸資産の増加80,557千円等であり、

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、20,594千円（前年同四半期は、12,619千円の支出）となりました。支出の主な内訳は、本社社屋建替えに伴う建設仮勘定など有形固定資産の取得による支出41,811千円、無形固定資産の取得による支出15,000千円、本社社屋建替えの解体撤去費用9,885千円であり、収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入48,185千円であり、

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、123,910千円（前年同四半期は、121,699千円の支出）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額99,734千円、社債の償還による支出25,000千円等であり、

## (4) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。

## (5) 経営者の問題認識と今後の方針について

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営者の問題認識と今後の方針について重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年10月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年12月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,085,401	6,085,401	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であります。
計	6,085,401	6,085,401		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年10月31日		6,085,401		887,645		1,038,033

(6) 【大株主の状況】

平成24年10月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
鈴木 裕生	東京都渋谷区	570,313	9.37
アゼアス従業員持株会	東京都台東区蔵前四丁目13番7号	233,500	3.84
渡邊 雄次郎	東京都新宿区	180,000	2.96
アゼアス株式会社	東京都台東区蔵前四丁目13番7号	171,757	2.82
天野 堅太郎	千葉県浦安市	138,500	2.28
上田 英彦	兵庫県たつの市	125,000	2.05
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内一丁目1番2号	125,000	2.05
株式会社広島銀行	広島県広島市中区紙屋町一丁目3番8号	125,000	2.05
倉敷繊維加工株式会社	大阪府大阪市中央区久太郎町二丁目4番31号	100,000	1.64
中嶋 博人	東京都千代田区	91,400	1.50
計		1,860,470	30.57

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 171,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,910,600	59,106	
単元未満株式	普通株式 3,101		
発行済株式総数	6,085,401		
総株主の議決権		59,106	

【自己株式等】

平成24年10月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) アゼアス株式会社	東京都台東区 蔵前四丁目13番7号	171,700		171,700	2.82
計		171,700		171,700	2.82

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年8月1日から平成24年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年5月1日から平成24年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,621,149	2,063,866
受取手形及び売掛金	3,027,014	2,461,112
商品及び製品	1,088,905	1,208,588
原材料	216,186	178,763
その他	99,342	76,883
貸倒引当金	9,897	5,679
流動資産合計	6,042,700	5,983,535
固定資産		
有形固定資産	1,015,479	1,059,298
無形固定資産	126,902	122,411
投資その他の資産		
投資有価証券	133,147	123,829
その他	127,602	161,024
貸倒引当金	1,124	965
投資その他の資産合計	259,625	283,888
固定資産合計	1,402,007	1,465,597
資産合計	7,444,708	7,449,132
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,489,662	1,698,546
短期借入金	13,700	13,700
1年内償還予定の社債	40,000	30,000
未払金	51,597	72,574
未払法人税等	141,614	14,817
賞与引当金	63,000	60,000
役員賞与引当金	20,000	-
その他	86,670	84,804
流動負債合計	1,906,243	1,974,443
固定負債		
社債	130,000	115,000
退職給付引当金	179,396	252,762
役員退職慰労引当金	88,840	92,460
固定負債合計	398,236	460,222
負債合計	2,304,480	2,434,666

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	887,645	887,645
資本剰余金	1,052,317	1,052,877
利益剰余金	3,255,529	3,130,105
自己株式	22,921	22,657
株主資本合計	5,172,570	5,047,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,679	2,582
為替換算調整勘定	43,021	36,087
その他の包括利益累計額合計	32,342	33,504
純資産合計	5,140,228	5,014,466
負債純資産合計	7,444,708	7,449,132

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
売上高	5,384,131	4,357,687
売上原価	4,295,948	3,562,866
売上総利益	1,088,182	794,821
販売費及び一般管理費	1 752,993	1 779,637
営業利益	335,189	15,183
営業外収益		
受取利息	662	388
受取配当金	1,292	1,905
受取賃貸料	1,340	1,337
その他	1,214	711
営業外収益合計	4,509	4,342
営業外費用		
支払利息	1,772	1,199
為替差損	3,297	1,806
上場関連費用	-	22,000
その他	20	26
営業外費用合計	5,090	25,032
経常利益又は経常損失( )	334,609	5,505
特別利益		
貸倒引当金戻入額	211	-
投資有価証券売却益	-	29
特別利益合計	211	29
特別損失		
固定資産売却損	29	-
固定資産除却損	366	12,357
減損損失	792	2,000
投資有価証券売却損	-	15
特別損失合計	1,189	14,373
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	333,631	19,849
法人税、住民税及び事業税	144,128	17,416
法人税等調整額	9,116	16,664
法人税等合計	135,012	751
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	198,619	20,601
四半期純利益又は四半期純損失( )	198,619	20,601

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	198,619	20,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,493	8,096
為替換算調整勘定	10,042	6,934
その他の包括利益合計	15,535	1,161
四半期包括利益	183,083	21,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,083	21,763
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	333,631	19,849
減価償却費	33,816	35,696
減損損失	792	2,000
貸倒引当金の増減額( は減少)	1,411	4,387
賞与引当金の増減額( は減少)	11,600	3,000
役員賞与引当金の増減額( は減少)	-	20,000
退職給付引当金の増減額( は減少)	3,558	73,195
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	18,220	3,620
受取利息及び受取配当金	1,955	2,293
為替差損益( は益)	448	281
支払利息	1,772	1,199
投資有価証券売却損益( は益)	-	13
固定資産売却損益( は益)	29	-
固定資産除却損	366	12,357
売上債権の増減額( は増加)	365,834	567,794
たな卸資産の増減額( は増加)	521,693	80,557
仕入債務の増減額( は減少)	82,694	209,911
前渡金の増減額( は増加)	16,025	12,554
未払金の増減額( は減少)	19,511	1,832
未払消費税等の増減額( は減少)	61,535	11,933
その他	5,299	813
小計	263,449	774,992
利息及び配当金の受取額	1,889	2,219
利息の支払額	1,768	1,236
法人税等の支払額	144,422	142,899
営業活動によるキャッシュ・フロー	119,147	633,075
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	16	-
定期預金の払戻による収入	-	48,185
投資有価証券の取得による支出	1,838	1,635
投資有価証券の売却による収入	-	169
有形固定資産の取得による支出	10,968	41,811
有形固定資産の売却による収入	925	-
無形固定資産の取得による支出	-	15,000
有形固定資産の除却による支出	-	9,885
保険積立金の積立による支出	1,033	1,027
その他	311	410
投資活動によるキャッシュ・フロー	12,619	20,594

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	30,000	-
社債の償還による支出	25,000	25,000
自己株式の処分による収入	15,244	824
配当金の支払額	81,943	99,734
財務活動によるキャッシュ・フロー	121,699	123,910
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,154	2,332
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	18,326	490,902
現金及び現金同等物の期首残高	1,151,965	1,190,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,133,638	1,681,880

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これにより当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
受取手形	169,731千円	

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
給料手当	247,479千円	252,426千円
退職給付費用	12,912 "	92,982 "
賞与引当金繰入額	59,835 "	51,364 "
役員退職慰労引当金繰入額	3,530 "	3,620 "
貸倒引当金繰入額	778 "	4,386 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)
現金及び預金	1,563,691千円	2,063,866千円
預入期間が3か月を超える定期預金	430,052 "	381,986 "
現金及び現金同等物	1,133,638千円	1,681,880千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年10月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年7月28日 定時株主総会	普通株式	82,049	14.00	平成23年4月30日	平成23年7月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年10月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年7月27日 定時株主総会	普通株式	100,497	17.00	平成24年4月30日	平成24年7月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年5月1日至平成23年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,529,407	1,030,804	1,330,087	4,890,300	493,831	5,384,131		5,384,131
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	191		2,150	2,342	23,789	26,132	26,132	
計	2,529,599	1,030,804	1,332,238	4,892,642	517,620	5,410,263	26,132	5,384,131
セグメント利益	378,650	65,097	61,241	504,989	28,814	533,803	198,613	335,189

(注)1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額1,794千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用 200,408千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	防護服・ 環境資機材	たたみ 資材	アパレル 資材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,863,504	967,648	1,054,931	3,886,084	471,603	4,357,687		4,357,687
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	133		4,191	4,324	12,583	16,908	16,908	
計	1,863,637	967,648	1,059,123	3,890,409	484,186	4,374,595	16,908	4,357,687
セグメント利益	151,920	37,811	69,781	259,514	15,140	274,655	259,471	15,183

(注)1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額1,928千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用 261,399千円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これにより当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

### (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )	33円76銭	3円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )(千円)	198,619	20,601
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )(千円)	198,619	20,601
普通株式の期中平均株式数(株)	5,882,654	5,913,415
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	33円56銭	
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	35,607	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年12月12日

アゼアス株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山 本 禎 良 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 岡 本 和 巳 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアゼアス株式会社の平成24年5月1日から平成25年4月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年8月1日から平成24年10月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年5月1日から平成24年10月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アゼアス株式会社及び連結子会社の平成24年10月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。